

## 普及活動情勢報告（令和7年11月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

### グリーンな栽培体系加速化事業に係る実証ほ現地検討会の開催 ～太陽熱消毒の効果安定を目指して～



熱心に意見交換する参加者

10月17日、11月12日に、ものべグリーン技術協議会（事業主体）主催の現地検討会が開催され、香美市と南国市の農林（水産）課、JA営農指導員、露地品目部会員ら延べ20名が参加しました。

農業改良普及課は、農研機構がマニュアル化した「陽熱プラス」太陽熱土壌消毒技術と有機質ポリマー施用による土壌水分の安定化の実証内容と途中経過について説明しました。

露地栽培農家や国営農地に関わる営農指導員らは特に雑草対策に関心が高く、太陽熱消毒の効果に感心したり園主に質問したりしていました。

農業改良普及課は、今後も露地野菜の安定生産を支援していきます。

### やっこねぎ部会視察対応 ～海外にも誇れる小ネギ産地～



洗浄により小ネギに土が付いてない説明を聞く視察者

11月5日に、種苗会社の案内でオランダ、ドイツ、オーストリアのネギ生産者23名が来高し、JA香美地区やっこねぎ部会のほ場を視察しました。

農業改良普及課は、小ネギ栽培における栽培の概要について説明しました。

視察者からは「高品質なネギだ」「安定出荷できる体系が素晴らしい」と話していました。一方、受け入れた部会員は、ヨーロッパの生産者の栽培規模や調整作業の違いに驚き、活発な交流がなされました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携して、品質向上と周年安定出荷を強化を進め、やっこねぎブランドの維持、向上を支援していきます。

### ハウスマカンの着花確保のために！ ～温室みかん部会現地研修会～



園地巡回の様子

11月6、14、17日にJA高知県香美地区果樹部温室みかん部会が現地研修会を開催し、生産者24名が参加しました。

今年は秋季の気温が高く、花芽分化に必要な低温が不足していることが懸念されたため、農業改良普及課は、着花確保のための栽培管理や加温開始の判断基準等を紹介しました。

生産者からは「低温確保のために加温開始を遅らせた」「加温開始日をいつにするか悩んでいる」等の意見があり、着花の確保に悩んでいる様子が窺えました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、安定した生産が継続できるように支援します。

## タマネギの収穫量アップを目指して！ ～国営ほ場の営農推進～



タマネギ定植の様子

11月8日～16日に、南国市の国営整備ほ場において双日土佐農人（株）がタマネギの定植を行いました。

農業改良普及課は、タマネギの栽培技術向上に向けて法人と協議し、移植苗の育苗指導や栽培作型の見直し、基盤整備課と連携した排水対策に係る事業支援等を行いました。

生産者からは「今までで一番良い品質の苗ができた」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も現地巡回により生育状況を確認し、タマネギの反収および栽培技術向上に向けた法人の取組を支援していきます。

## 隣の部会と情報交換！ ～香美・土長地区合同現地検討会～



みんなでは場視察！

11月10日に、J A高知県香美地区ピーマン部会、土長地区（長岡、南部）ピーマン部会が初めての試みとなる合同での現地検討会を開催し、生産者35名がイチネン農園および農業技術センターのほ場を視察しました。

農業改良普及課は、定植初期の振り返りと、高温対策について説明しました。

生産者からは「産地間の交流につながり有意義な会だった、来年も続けていきたい」との声が聞かれ、産地を越えた交流が深まったことが感じられました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、生産者の交流を促す取組を提案し、ピーマン産地の活性化につなげていきます。

## 高知の集落営農法人の活動を紹介します ～5県集落営農法人等連絡協議会サミット（視察）～



広島県からの視察の様子  
（（農）ファーム西永野）

5県集落営農法人等連絡協議会サミットが高知県で開催され、翌11月12日に、島根県28名と広島県51名が管内の（株）ながおかと（農）ファーム西永野を視察しました。

農業改良普及課は、資料作成や概要説明、（農）ファーム西永野では、地域の説明とネギほ場を視察した後に意見交換の場を設けました。

視察者からは「雇用の確保はどうしているか」「どういう事業を使って共同機械を整備したのか」など多くの質問ができました。

農業改良普及課は、今後も管内の組織の活動支援を行うとともに、視察対応が円滑に進むようサポートしていきます。